

2019年度 環境経営レポート

(活動期間：2019年4月～2020年3月)



作成日：2020年4月10日

承認	作成
遠藤	村越

諏訪湖ハイトラスト株式会社

目次

1. 事業活動の概要	・・・	P	1
2. 主要設備概要	・・・	P	3
3. 実施体制	・・・	P	4
4. 環境経営方針	・・・	P	5
5. 環境経営目標と実績	・・・	P	6
6. 環境経営活動の結果と評価	・・・	P	7
7. 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無	・・・	P	12
8. 代表者による全体評価と見直し	・・・	P	13

はじめに

当社は2018年4月1日に、環境マネジメントシステムを立ち上げました。このシステムでは、当社の事業年度に合わせ、毎年4月から翌年の3月までをひとつの区切りとしています。

この「環境活動レポート」は、2019年度を対象にまとめました。

1. 事業活動の概要

1-1. 名称及び代表者名

会社名 : 諏訪湖ハイトラスト株式会社
代表取締役社長 : 山口 隆司
環境マネジメントシステム(EMS)代表者 : 遠藤 克成

1-2. 所在地

〒394-0055 長野県岡谷市字内山 4769 番地 14

1-3. 環境保全関係の責任者及び担当者

EMS代表者 : 総括責任者
環境管理責任者 : 電気主任技術者
環境事務局 : 業務管理員, 事務員

1-4. 連絡先

TEL : 0266-78-1590
FAX : 0266-78-1591
E-mail : koshu3@takumatechnos.co.jp
HP : <http://www.suwako-ht.jp>

1-5. 事業内容

一般廃棄物処理施設の運営・維持管理業務

1-6. 事業規模

法人設立	:	2013年11月
資本金	:	30,000万円
処理対象物	:	可燃ごみ、破碎・選別後残渣（大型可燃ごみ）
処理能力	:	110t/日（55t/24h×2炉）
処理量	:	31,333 t/年（2019年度）
従業員	:	37名
延床面積	:	8,572.86 m ²
事業期間	:	2016年12月1日～2036年11月30日 (20年間)

1-7. 対象範囲

全組織・全活動

1-8. 事業概要

諏訪湖ハイトラスト株式会社は、湖周行政事務組合（岡谷市、諏訪市、下諏訪町）が発注する「諏訪湖周クリーンセンター（愛称：eco ポッポ）の運営・維持管理業務」を実現するために設立された特別目的会社（SPC）です。

本事業は、一般廃棄物処理施設である諏訪湖周クリーンセンターの運転、ユーティリティの確保、日常点検、定期点検、部品等の調査、補修等の運営維持管理を、2016年12月1日から2036年11月30日までの20年間にわたり実施するものです。

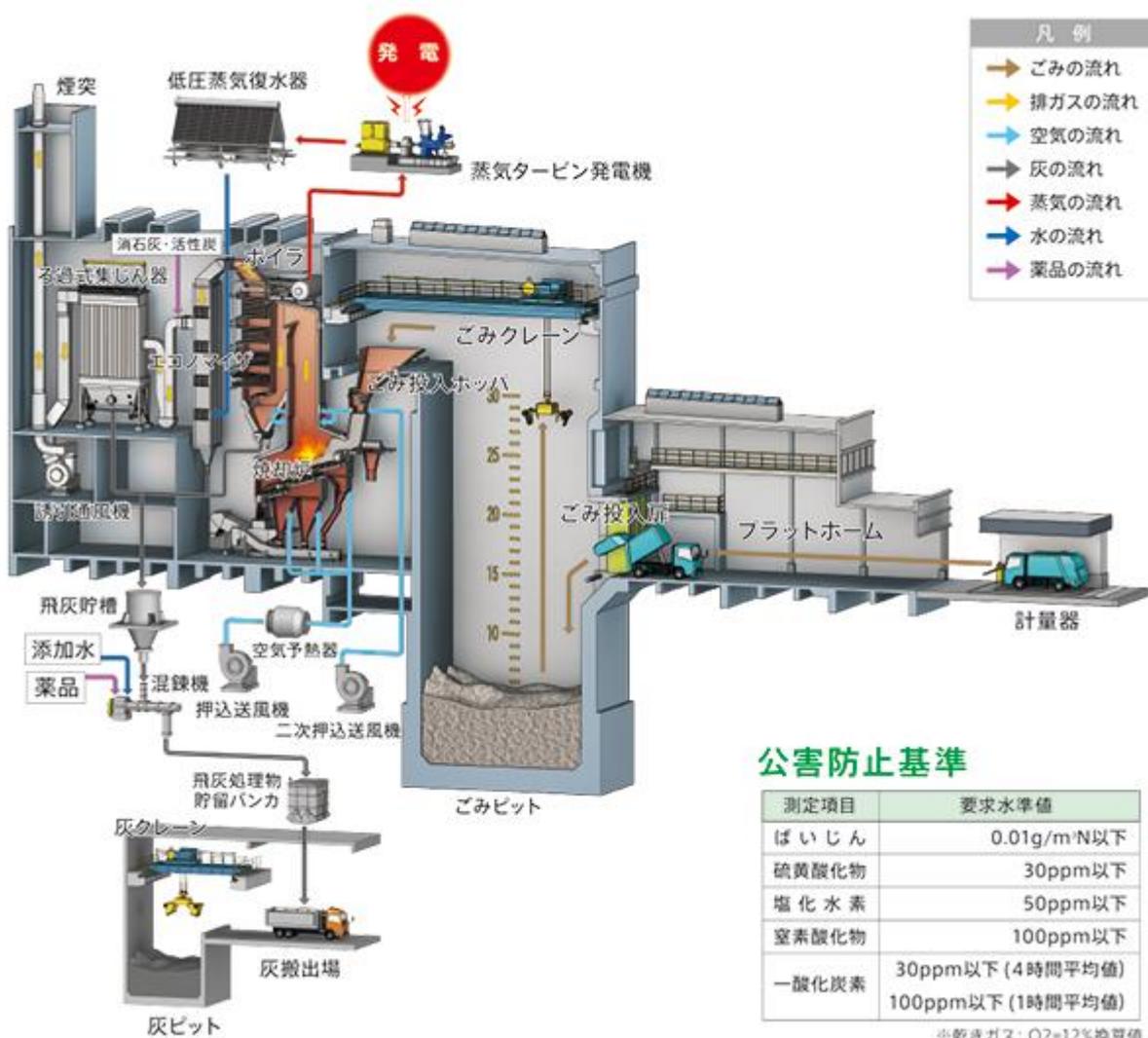
特別目的会社（SPC：Special Purpose Company）とは

事業の独立性の確保を目的に特別目的会社（SPC）を設立することで、出資者等の破たん等が生じた場合でも事業の実施に影響を受けない体制を構築することが可能です。

本事業で諏訪湖ハイトラスト(株)が特別目的会社（SPC）となり、20年間の運営維持管理を行います。

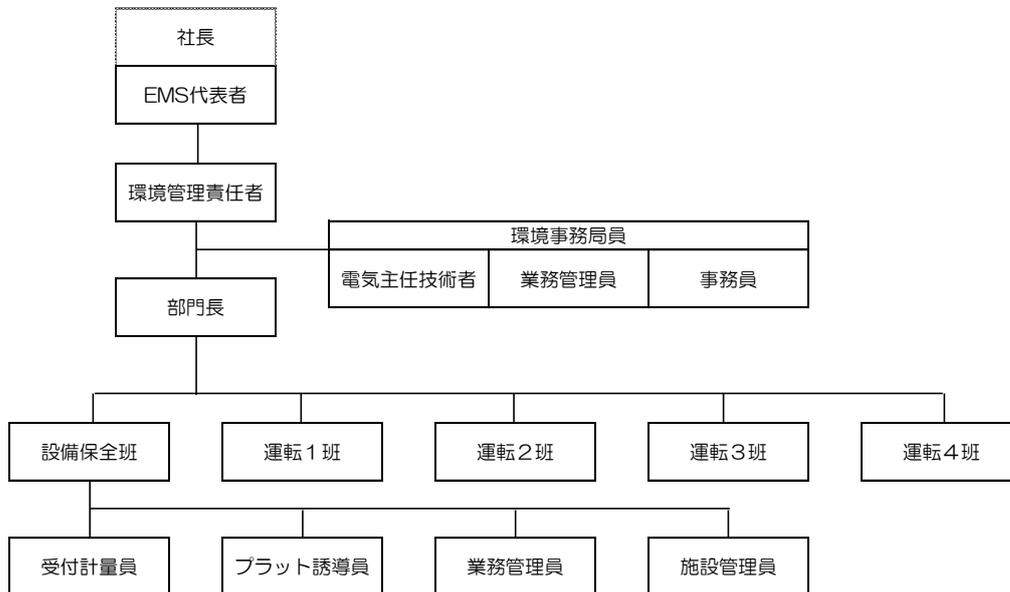
2. 主要設備概要

受入供給設備	計量器、ピット・アンド・クレーン方式
燃焼設備	全連続燃焼式焼却炉(ストーカ炉)
燃焼ガス冷却設備	ボイラ式
排ガス処理設備	ろ過式集じん器、有害ガス除去方式
灰出設備	●焼却灰:加湿処理 ●飛灰:薬剤処理
発電設備	蒸気タービン発電(発電出力 2,050kW)
通風設備	平衡通風方式



3. 実施体制

実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
EMS代表者 (総括責任者)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者 (電気主任)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認・評価 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの確認
環境事務局 (電気主任、事務員)	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境経営の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長 (運転責任者)	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 教育、訓練の実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営へ参加

4. 環境経営方針



1. 経営理念

諏訪湖ハイトラスト株式会社は、株式会社タクマと株式会社タクマテクノスにより設立された特別目的会社として、諏訪湖周クリーンセンターにおいて湖周行政事務組合との事業契約に基づき、一般廃棄物焼却処理施設の運営維持管理事業を実施する運営共同企業体です。

この事業の遂行にあたっては、株式会社タクマの社是「技術と人と地球を大切にする」および、本事業の基本方針である「自然を守り、人を育み、地域をつなぐ」事業所運営を目指します。

2. 活動指針

- 1) 当社の経営理念に基づき、運営維持管理業務の遂行にあたっては、次の活動を積極的に推進し、継続的に経営を改善します。
 - ① 搬入される一般廃棄物の適切な受付
 - ② 一般廃棄物の適正かつ効率的な処理
 - ③ 発生する排ガスの安定処理
 - ④ 従業員の安全と健康を確保する安全管理
 - ⑤ 運営状況を地域住民に発信する啓発活動
- 2) 適用される環境関連法規および湖周行政事務組合など行政からの環境に関わる指示事項を遵守します。
- 3) 環境経営方針は全従業員に周知徹底し、一般にも公開します。

制定日：2018年 4月 1日

諏訪湖ハイトラスト株式会社

EMS代表者 遠藤 克成

5. 環境経営目標と実績

5-1. 環境経営目標

No.	項目	単位	基準年度実績	年度目標	
			2017年度	2019年度	2020年度
1	CO2総排出量の削減	kg-CO2	140,697	103,734	109,398
2	ごみ発電量の確保	MWh	14,626	14,529	14,257
3	購入電力の削減	MWh	116.01	90.00	102.00
		kg-CO2	54,757	42,480	48,144
4	灯油使用量の削減	kL	34.5	24.6	24.6
		kg-CO2	85,940	61,254	61,254
5	消石灰使用量の削減	t	142.31	145.97	137.75
6	イベントの有効性の向上	回	2	2	2
7	緊急停止0	回	3	0	0
8	苛性ソーダ使用量の削減	L	3,762	3,125	3,175
9	塩酸使用量の削減	L	2,985	2,542	2,542
10	飛灰処理薬剤使用量の削減	L	17,975	20,039	19,842

(注1) 本施設の運転計画に基づいて算出するため、目標値が基準値を超過する場合があります
(注2) 購入電力のCO2排出係数 : 0.472kg-CO2/kWh (2017年度中部電力調整後排出係数)
(注3) 灯油のCO2排出係数 : 2.49kg-CO2/L

維持項目：廃棄物、水、グリーン購入は現状で改善の余地がないため目標として設定しない。

5-2. 年度目標（2019）に対する実績と結果

No.	項目	単位	2019年度		
			目標値	実績値	結果
1	CO2総排出量の削減	kg-CO2	103,734	78,274	○
2	ごみ発電量の確保	MWh	14,282	15,230	○
3	購入電力の削減	MWh	90.00	88.85	○
		kg-CO2	42,480	41,937	
4	灯油使用量の削減	kL	24.6	14.6	○
		kg-CO2	61,254	36,337	
5	消石灰使用量の削減	t	145.97	144.09	○
6	イベントの有効性の向上	回	2	2	○
7	緊急停止0	回	0	0	○
8	苛性ソーダ使用量の削減	L	3,125	1,940	○
9	塩酸使用量の削減	L	2,542	1,595	○
10	飛灰処理薬剤使用量の削減	L	20,039	19,827	○

6. 環境経営活動の結果と評価

No.1 CO2総排出量の削減

2019年度	目標	103,734	kg-CO2
	実績	78,274	kg-CO2
	達成度	132.5	%

主な取組内容

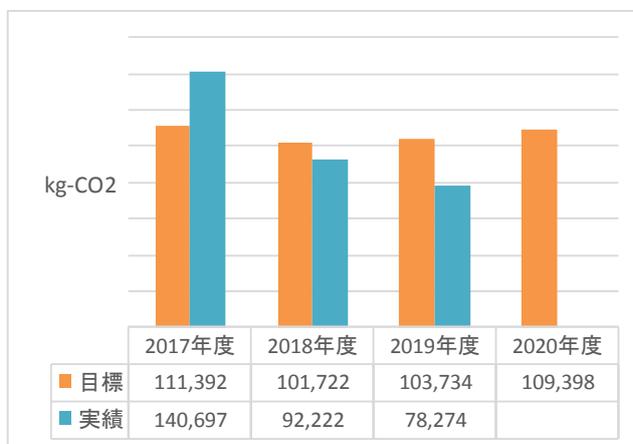
- ごみ発電量の確保
- 購入電力の削減
- 灯油使用量の削減

結果と評価

- 個別の目標を全て達成したことにより、本項目の目標を達成し取組みの成果を確認できました。

2020年度の目標

- 本項目に係る個別の目標を全て達成する事でCO2排出量の削減を図ります。



No.2 ごみ発電量の確保

2019年度	目標	14,282	MWh
	実績	15,230	MWh
	達成度	106.6	%

主な取組内容

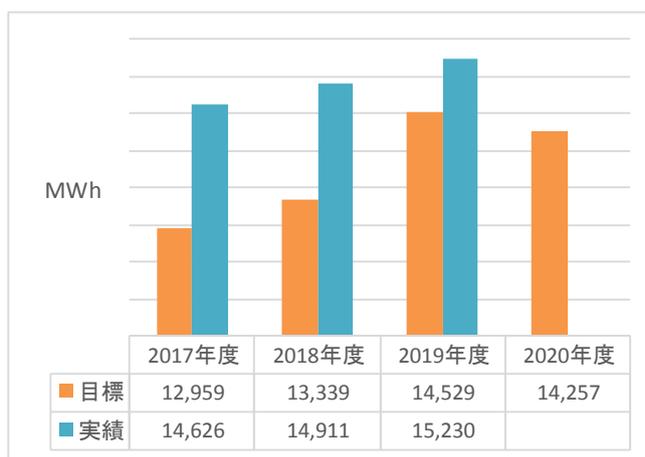
- 焼却炉の安定稼働

結果と評価

- 計画通りに焼却炉を操業したことにより、目標を大きく達成できました。要因としては、ごみ量の増加と計画外の停止がなかったことによるものです。

2020年度の目標

- 焼却炉の安定稼働

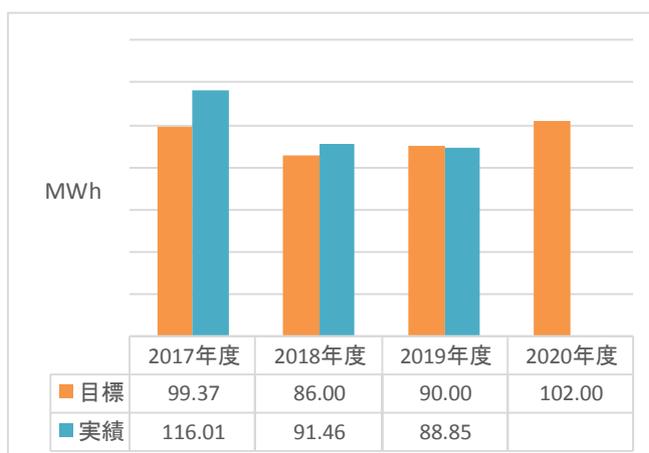


No.3 購入電力の削減

2019年度 目標 90.00 MWh
 実績 88.85 MWh
 達成度 101.3 %

主な取組内容

- 場内空調の管理
 - ①場内・夜間の不必要な空調の停止
 - ②空調管理表の作成および運用



結果と評価

- 場内空調の管理を行い、消費電力の削減ができました。また、タービン非常停止を伴うトラブル等がなく、計画外の買電がなかったことにより目標を達成できました。

2020年度の目標

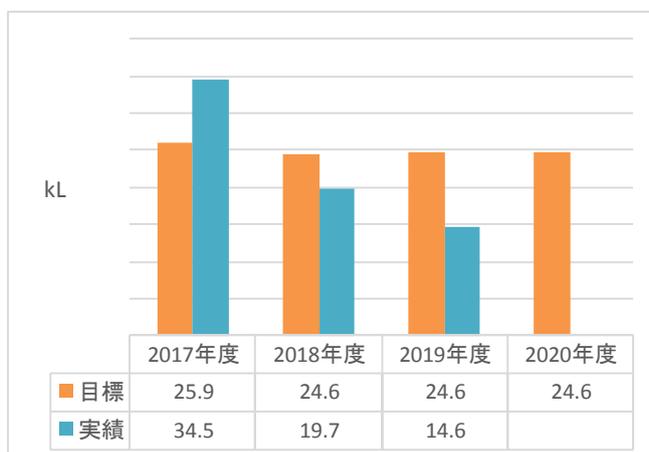
- 照明空調設備の確認と変更

No.4 灯油使用量の削減

2019年度 目標 24.6 kL
 実績 14.6 kL
 達成度 168.6 %

主な取組内容

- 立上げ立下げ工程の見直し
 - ①手動弁操作時のルールを統一



結果と評価

- 立上げ立下げの見直しが有効であり、目標を達成できました。
 また、年度目標にしたことにより、運転員が使用量を意識して無駄を抑えたこと
 によって、想定以上の削減ができました。

2020年度の目標

- 立上げ立下げ工程の見直し

No.5 消石灰使用量の削減

2019年度	目標	146.0 t
	実績	144.1 t
	達成度	101.3 %

主な取組内容

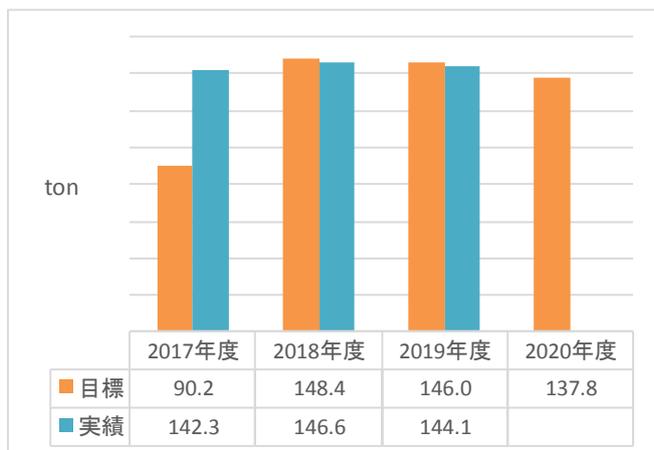
- 設定値の確認と変更
 - ①HCl濃度設定値変更についての経過観察
 - ②HCl濃度自動制御時の無駄吹き軽減
(PID設定値の再調整)
 - ③スートフロア運転時の無駄吹き軽減

結果と評価

- 設定値の変更、見直しが有効であり、目標を達成できました。
※ 排ガス中のHCl（塩化水素）は、消石灰と反応させることにより中和、除去します。

2020年度の目標

- 設定値の確認と変更



No.6 イベントの有効性の向上（社会貢献）

2019年度	目標	2 回
	実績	2 回
	達成度	100.0 %

主な取組内容

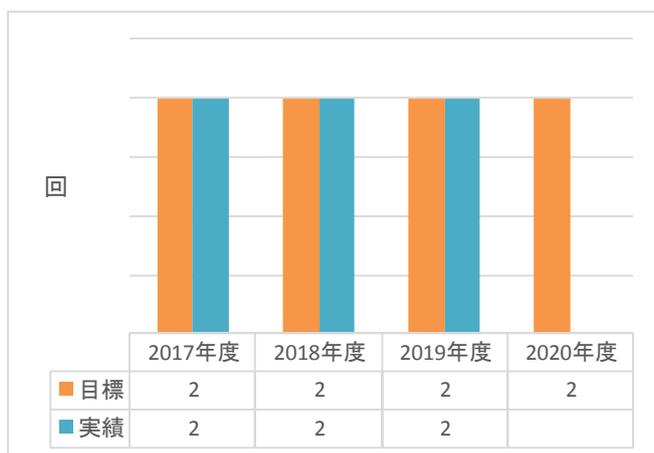
- イベント実施
 - ①第5回ecoポップ『ふれあいフェス』（7/14）
 - ②第6回ecoポップ『ふれあいフェス』（11/9）

結果と評価

- イベントを計画通り2回実施した。
来場者数は151名（7月）、164名（11月）と天候不順の中での開催にも関わらず多くの住民の参加があり好評であった。

2020年度の目標

- イベント実施

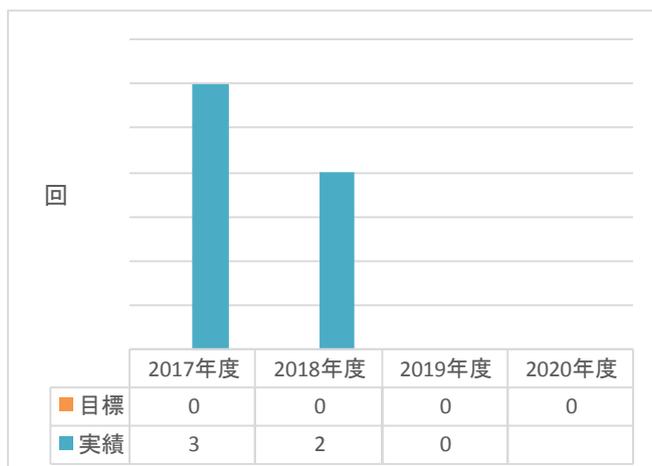


No.7 緊急停止0（タービン非常停止）

2019年度	目標	0 回
	実績	0 回
	達成度	達成

主な取組内容

- ・異常の早期発見
 - ①瞬低保護回路の設定値見直し



結果と評価

- ・設定値の変更、見直しが有効であり、系統トラブル（瞬時電圧低下・瞬停等）に伴うもらい事故等がなく目標を達成できました。

2020年度の目標

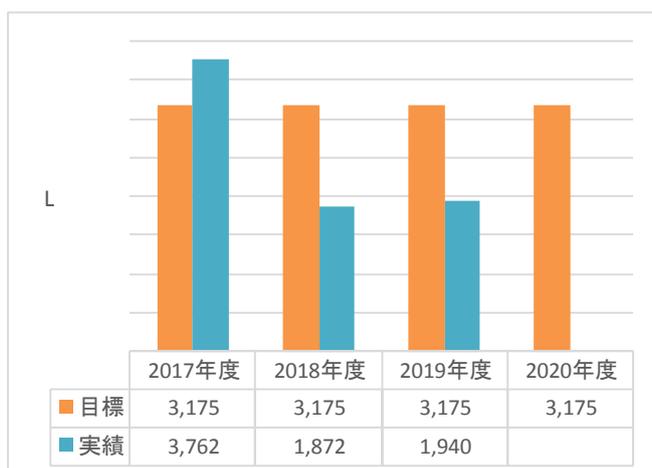
- ・異常の早期発見

No.8 苛性ソーダ使用量の削減

2019年度	目標	3,175 L
	実績	1,940 L
	達成度	163.6 %

主な取組内容

- ・設定値の確認と変更
 - ①灰汚水移送ポンプの運転方法の変更



結果と評価

- ・運転タイマーを増設（2018年10月施工）してポンプを間欠運転へ変更したことによりpH調整が安定し、目標を達成できました。

2020年度の目標

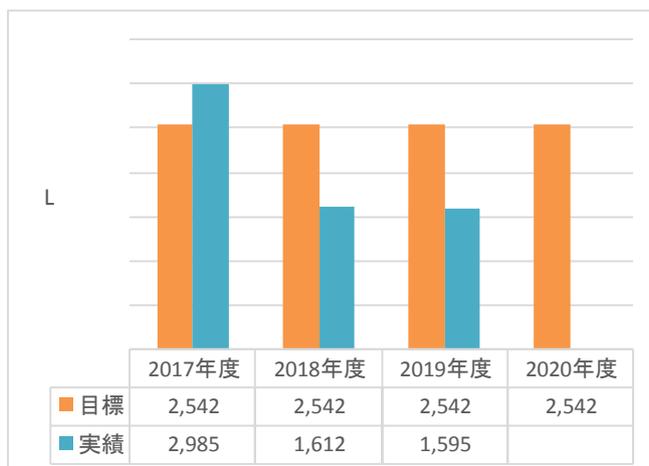
- ・設定値の確認と変更

No.9 塩酸使用量の削減

2019年度	目標	2,542 L
	実績	1,595 L
	達成度	159.4 %

主な取組内容

- 設定値の確認と変更
 - ①灰汚水移送ポンプの運転方法の変更



結果と評価

- 運転タイマーを増設（2018年10月施工）してポンプを間欠運転へ変更したことによりpH調整が安定し、目標を達成できました。

2020年度の目標

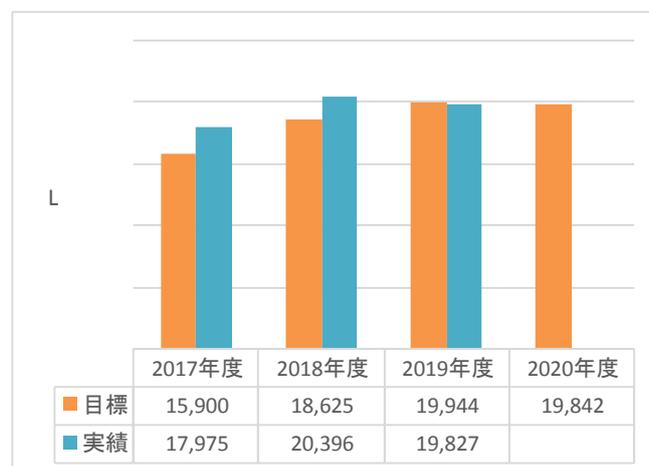
- 設定値の確認と変更

No.10 飛灰処理薬剤使用量の削減

2019年度	目標	19,944 L
	実績	19,827 L
	達成度	100.6

主な取組内容

- 薬剤添加率の確認と変更
 - ①重金属含有量および余剰薬剤量の外部分析
 - ②余剰薬剤量の自主分析
 - ③薬剤注入設定桁数の見直し
(0%→0.0% 設定精度変更)



結果と評価

- 薬剤添加率の確認と変更による添加率の見直し（3%→2.5%）が有効であり目標を達成できました。

2020年度の目標

- 焼却炉の安定稼働

7. 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

次の法令等が適用され、2020年3月31日、遵守の確認を行ったところ、下記の結果でした。

なお、関係当局より違反の指摘は、過去3年間ありません。

法令等	主な法規制等内容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・適切な処理	○
大気汚染防止法	・規制値の遵守	○
水質汚濁防止法	・事故時の措置	○
下水道法	・規制値の遵守	○
ダイオキシン類対策特別措置法	・規制値の遵守	○
騒音規制法	・規制値の遵守	○
振動規制法	・規制値の遵守	○
悪臭防止法	・規制値の遵守	○
労働安全衛生法	・体制の整備 ・危険・健康障害防止措置	○
作業環境測定法	・作業環境測定	○
消防法	・選任、届出	○
毒劇法	・取り扱い、表示	○
公害の防止に関する条例	・上乗せ基準	○
フロン排出抑制法	・簡易点検 ・有資格者による定期点検	○
岡谷市公害防止条例	・規制値の遵守	○
要求水準（環境関連）	・規制値の遵守	○

8. 代表者による全体評価と見直し

EA21 マネジメントレビュー記録

(1/2)

インプット（審議事項）	アウトプット（見直し結果：代表者指示）
<p>(1)問題事項及び是正処置 （各部署長）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 施設の運営での問題点：なし 計画通りの運転に加え、用役使用量の大幅な削減が出来た。 • 改善提案：2件 	<p>—</p>
<p>(2)地域住民などの利害関係者からの苦情及び是正処置(詳細は年次報告書)（環境管理責任者）</p> <p>①苦情：地域からの苦情：なし ②イベントの総括：来場者数 151 名（7 月）、164 名（11 月）となった。</p>	<p>—</p>
<p>(3)法規制、遵守評価、社会状況の変化（環境管理責任者）（環境法規制等取りまとめ表）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 遵守評価の懸念事項：なし • 新型コロナウイルスの感染拡大（パンデミック発生） 	<p>—</p>
<p>(4)目標の達成状況（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 立上げ立下げの見直しが有効であり、灯油使用量が削減出来た。 • 設定値の確認と変更が有効であり、消石灰使用量が削減出来た。 • イベントを計画通り 2 回実施し、好評であった。 • 新たに目標に加えた用役（苛性ソーダ、塩酸、飛灰処理薬剤）についても、取組みが有効であり、使用量が削減出来た。 	<p>—</p>

インプット（審議事項）	アウトプット（見直し結果：代表者指示）
<p>(5) 負荷の自己チェック、取組の自己チェックの結果（事務局）</p> <p>負荷の自己チェックおよび取組の自己チェックによる「①緊急停止の回数を減らし、地域からの信頼を得る②使用薬品量を減らし、資源使用量の削減に取り組む。③地域イベントをより有効に行う。」は現状維持とする。</p>	<p>—</p>
<p>(6) 改善の提案</p> <p>・ E A 2 1 の活動 安定安心の活動をさらに推進する。</p>	<p>新型ウィルスが猛威を振るう中、弊社の性質上事業の継続が責務であることを踏まえ、危機管理に対し万全の体制及び対策を構築し、事業の継続をめざすことが安定安心につながる。</p>
<p>方針、目的、目標、EMSの見直しの必要性の言及</p> <p>〈方針〉 <input type="checkbox"/>必要 <input checked="" type="checkbox"/>不必要</p> <p>〈目標〉 <input type="checkbox"/>必要 <input checked="" type="checkbox"/>不必要</p> <p>〈環境経営システム〉 <input type="checkbox"/>必要 <input checked="" type="checkbox"/>不必要</p>	